

平成30年度第1回岡山県立博物館協議会議録(要旨)

日時 平成30年10月9日(火) 10:00～12:00
会場 岡山県立博物館 講堂
出席者 委員：村木議長、藤實副議長、清友委員、小田委員、福本委員、宇野委員、
岡野委員、岡本委員、清水委員、鳥井委員
博物館：山田館長、塩田副館長、中田統括学芸員、竹原総括参事、重根学芸員(主幹)、
秋山学芸員(主幹)、野田学芸員(主任)、宇垣主任、服部主任
文化財課：大西課長、横山参事(博物館兼務)
欠席者 延江委員、中嶋委員、光本委員、吉本委員、名木田委員

1 開 会

2 開会あいさつ
山田館長あいさつ

3 委員の異動について
森寺勝之委員退任に伴い、後任に清友尚委員就任

4 協議・報告事項

- (1) 平成30年度事業について
 - ア 展覧会
 - イ 教育普及事業
 - ウ 入館状況
- (2) 平成31年度展覧会計画(案)について
- (3) 長期展覧会計画(案)について
- (4) 第2次岡山県立博物館中期目標の達成状況について(平成29年度)
- (5) その他
 - ・来館者アンケート結果について

委員からの意見・提案

- ①特別展「岡山ゆかりの肖像」の関連行事でワークショップを行うようだが、今後も様々な展示会で取り入れたほうがよいのではないか。
- ②来年で平成が終わるので、平成の30年間を振り返ってなど、平成という一つの時代が終わるといふ視点でなにか展示の工夫ができないか。
- ③来年度の特別展「江戸の旅模様」(予定)で、歴史とは異なるが、旅にまつわるもので人を惹きつけるような何か特集ができないか。また、江戸の食文化や、江戸時代の子育てを取り上げて欲しい。
- ④解説が大人向けで解説が難しいものがあるので、出来れば子どもでも自力で読めるような解説をお願いしたい。
- ⑤公民館ともしっかり連携して欲しい。
- ⑥例えば「今、岡山県立博物館が面白い」などのキャッチフレーズが特別展の中で年1回ぐらいあってもいいのではないか。外部に向けて、あるいは県や県教委に向けても博物館に対する意識付けをすれば、目が向いてくるのではないかと思う。
- ⑦県北の地域に対しては、館内授業等も博物館の隣の学校に比べて浸透していない。例えば市町村教委とバス代を半分づつ負担するなどの学校への支援等はあるのか。
- ⑧高校生の社会貢献活動として、ボランティアを募ることはできないか。例えばチケットの販売や、展覧会の情報をSNSで広めたり、職場体験等で高校生が中学生に教えるなどのボランティア業務を募ることで、まずは博物館に来るきっかけとなり、身近なものとして浸透させていくことが出来るのではないか。
- ⑨岡山の人でも、案外博物館の事を知らない人もいる。例えば博物館フェスやライブなどを開催して、博物館に来て楽しいと思えるような機会を設けられればいいと思う。
- ⑩ジュニア学芸員について、55人も応募して22人しか採用できないのではなく、50人位採用でき

る内容にしてはどうか。例えば大学の教員や他館の学芸員に応援を頼んでできないのか。

- ⑪無料で掲載出来る情報提供媒体をしっかり活用して欲しい。
- ⑫子どもの頃からより良いものに触れる体験を積むことが重要と考えるが、なかなか広まらない。郷土への愛着を子どもの頃から植え付けたいが、20代から30代の女性を連れて来ることができれば、その女性が子どもを連れて来ることによって、郷土愛を育む世代が繋がってくるのかなと感じる。
- ⑬博物館の入館料について、大人でも250円でこれだけしっかりした展示が見られるのに、高校生以下は特別展も含めて無料ということで利用者側としては非常にいいことだ。HPのトップにそのような記載をしてもっと入館をアピールしてもいいのではないか。利用する側からすれば、無料というのは魅力がある。しっかりPRして欲しい。

5 閉 会